

#PostG7Summit2023Era 一つの起点

2023年8月15日

意思決定コンサルタント
下村拓滋

本合宿でご縁を頂いた生徒の皆様、先生方、どうもありがとうございました。

7年前、オブザーバーとして参加してからいつかは講義をご提供したいと思っていました。

この思いを実現できて、更に、次世代の人財育成のコミュニケーションツールを一つ増やすことができました。重ねてお礼を申し上げます。

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=JleJyz0sTbs&list=PLaP0yMbskW4EonQ8I7yWSOTcqaRnUHXRd&index=136)

[v=JleJyz0sTbs&list=PLaP0yMbskW4EonQ8I7yWSOTcqaRnUHXRd&index=136](https://www.youtube.com/watch?v=JleJyz0sTbs&list=PLaP0yMbskW4EonQ8I7yWSOTcqaRnUHXRd&index=136)

西田天香さんの最終到達点「争いのない平和な世界」は、私の最終到達点「すべてのヒトが幸せであり続ける地球」だと感じております。2023年は私が定義した「分水嶺の6年間（2020年から2025年）」の中間年。G7のホスト国は日本、G20のホスト国はインド。日本とインドとの協働作業が世界の慣性の法則を工業化の過程「土から離れて生きる」から人類本来の「土の共に生きる」に回帰させると確信をしております。生徒の皆さんとインド総領事 ニキレシュ・ギリさんとの対話は、私の確信を深化させました。

天香さんの「許されて生きる」と私の「あなたの意思決定が世界を創る」がどう結びつくのか合宿中から考えていました。日本は世界の文化と文明の最終到達点。これは、私が「人類史」と「世界の仕組み」から導き出した一つの結論。この結論から先の2つの関係性概念を推論すると、「許されて生きる」は倫理、「あなたの意思決定が世界を創る」は道德、となった。日本には太古の昔、穏やかな家系と乱暴な家系のユダヤの民が渡来。日本に辿り着くまで迫害され続けたユダヤの民に日本のリーダーは土地を与えた。そして、穏やかな家系は日本中に神社を創り、職人の技を磨き伝承。乱暴な家系は時の日本のリーダーを暗殺し、やがて途絶えた。

英国からの大量殺戮の歴史を持つインド。米国からの大量殺戮の歴史を持つ日本。人類の体験値が増えて、当時のそれぞれの国と今のそれぞれの国は前提が変化している。これまでの世界の慣性の法則は英米のごく一部のヒトが創ってきた。この慣性の法則のままでは人類は土から切り離される。この慣性の法則は日印が対話を重ねるグローバルサウスに欧米の民が加わり変更管理されると私の直観が言っている。

この流れは、海外からもアクセスのある人類の物語（2021年）に組み込んでいる。

<http://manmodelmarketing.com/blog/4179.html>

いつの時代もヒトは倫理と道德を深化させ、万能になる道筋を見つけようとしている。

理論量子認知科学では倫理は原点側、道德は到達点側にあり、手段は組織と道具。万能とは、たった一つの行動原理（#Principle）を知り扱えるようになること。鍵は多様な視点。

天香さんの時間と私の時間は時代が異なり、「楽しむ」感覚にも違いがあるのだらうと思います。

天香さんの時代の後に私の時代があり、そして、生徒の皆さんの時代が続きます。

天香さんは天香さんのやり方で世界を飲み込んだ。

我々も一人一人のやり方で世界を飲み込みましょう！

#すべてを見通す眼は普遍的な主観は普遍的な文化であることを実証する